

泌尿器科腫瘍グループ

泌尿器科腫瘍グループ 筑波大学 腎泌尿器外科小島 崇宏

1

第1回前立腺がん患者会との交流会

日時:令和2年7月15日(水) 17:30~19:00
ZOOMによるWEB会議

参加者 (敬称略、順不同)

- ・ 腺友倶楽部 理事長 武内 務
- ・ JCOG患者参画小委員会 : 福田、木村
- ・ 放射線治療グループ : 溝脇、二瓶
- ・ 泌尿器科腫瘍グループ: 賀本、杉元、木村、井上、寺田
塩田、成田、坂本、西山、小島

2

交流会の目的

前立腺がんの新規臨床試験案について、患者さん側から要望やご意見をいただき、より良い臨床試験にしていくこと

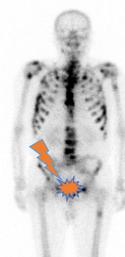
3

①研究者から何を情報提供したか？

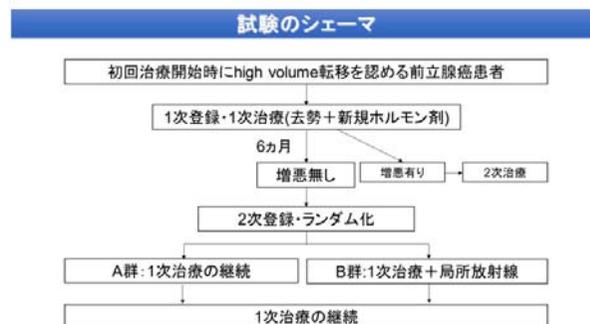
1. JCOGの紹介とJCOGにおける患者会との交流の現状と方向性について(福田)
2. JCOG研究の紹介
過去の前立腺癌研究成果の紹介JCOG0401について (小島)
3. 新規研究案(HimeRT試験)の紹介 (寺田)

4

✓ 新規研究案(HimeRT試験)の紹介 (寺田)



High volume転移



5

- ②何について患者さんの意見を聞いたか？
③患者さんからどういう意見が出されたか？

➤ 倫理的に本試験は受け入れられるか？

最近、転移癌の患者に手術を行う発表もあるが、これはやりすぎではないかと思う。照射による局所治療は許容範囲だろう。

➤ 照射について

Q: 局所照射は有効であると思うか？

患者の中には、全身の骨転移に照射治療を行っている方もいる。局所に限った照射もひとつの方法であるので、意義を検討することは問題ないかと思う。

Q: 局所照射の回数が少なくなることは、患者にとってメリットがあるか？

多発転移を有する方への局所照射も、回数が少ない方が患者にとってはうれしい。

6

- ②何について患者さんの意見を聞いたか？
③患者さんからどういう意見が出されたか？

➤ エンドポイントについて

Q: PSA増悪までの期間を延長することは重要かと思うか？

OSでは試験が長期になってしまう。OSIにこだわらずに、PFSにすることは受け入れられる。

Q: PSA増悪すると、ドセタキセルを行うことも予想されるが、患者にとって抗癌剤を受けることは負担があることか？

ドセタキセル、カバジタキセルを受けたくない方がいるのは事実。かたくなに嫌う方が一定の比率でいる。

Q: セカンダリーエンドポイントにQOLや機能評価を入れたいと考えている。前立腺がんの患者さんにとって、生命予後、QOLのどちらを大事にしているか？

延命効果とQOLの掛け算で考えていることが多い。余命が多少縮んだとしても、QOLが改善すれば納得することはある。QOLの評価は、客観的指数で行うのは難しいのでは？総合的に評価可能ならいいかと思う。

- 患者登録にご協力お願いできるか？
患者会としても協力可能。

7

➤ 患者会からみたJCOG研究への期待と要望

- ・ 積極的治療の年齢上限をあげていく考えがある。

手術が好きな先生は、どんどん適応を広げて進めていく心配がある。高リスクや超低リスクまで手術の範囲が広がっていくのは懸念している。

- ・ 製薬が行わない試験を行うことで期待している。一緒に進めていければと思う。

8